

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス四日市鶴の森		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日		2025年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日		2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	イベントの充実、特に外出を意識し水族館や動物園など、色々な場所へ足を運び五感を刺激する体験を通じ、学びや社会性の向上につながっています。	子ども達が楽しめる様に個々に興味などのリサーチを行う。	地域イベントのリサーチを強化し積極的に参加していく。
2	清潔で整理された環境づくりを徹底しており児童が安心して過ごせる空間を提供しています。整った環境は安全な生活週間の定着にもつながっています。	昼食やおやつの後、工作レクの後に床の清掃を行っている。 感染症対策として2時間毎にトイレやドアノブなどをアルコール消毒。 週1のエアコンフィルターの清掃後、次亜塩素酸水で消毒。 物をあまり置かないようにし、配置等分かり易くしている。	会社から予算をいただき劣化した部分を補修していく。
3	職員間での支援方法や対応方針を統一しており児童一人ひとりに一貫した支援を提供しています。統一された支援により児童は、安心して活動に参加でき成長や学びにつながっています。	毎日の記録に基づく成長の記録と課題の分析、その日利用のこどもの行動や様子や気づきを含め、毎日終業前に意見交換と対策・対応の共有を行い職員毎の支援に差が出ないようにしている。	個別支援計画の理解を深め、情報収集や分析力の強化を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域イベントへの参加率が低い為地域に開かれた活動ができていない。	イベントを考える上で、大型施設への外出を念頭に考えてしまっている。	近隣のイベントのリサーチを強化し、地域参加の強化を行う。人数を制限したりグループ分けをすることで安全を確保できるようにしていきます。
2	ご家族様への支援や交流の機会が十分に確保できておらず家族との関わりを深められていない。	「施設利用の保護者間の交流機会が少ない」という意見がある	保護者にアンケート調査を行い、実行可能な方法による交流会などの開催を検討する。
3	保護者との情報共有を行う上で連絡手段に難がある	現状電話を使用しているが、保護者の生活環境により確実な連絡方法とは言えない。	メールなどを活用し、より確実な連絡手段の確立を目指す。